土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調 査 名 一般国道191号 道路災害防除事業に伴う業務委託(落石対策)

事業名 または 工事名 一般国道191号 道路災害防除事業に伴う業務委託 (落石対策)

調査目的及び調査対象 道路 橋梁・高架

ボ―リング 名	No. 2	調査位置	広島県山県郡北広島町	北 韓 34° 38′ 28.129″						
発注 機 関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			調査期間	2020年 10月 23日 ~ 2020年 10月 27日	東 経 132° 21′ 47.121″				
調査業者名		主任技師		現場代理人	コーア	ボーリング 責 任 者				
孔口標高		北 0° 90°		試錐機	東邦 D 1					
総削孔長	9.00m 度	西東	勾 聖レ/~ 機	エンジン	ヤンマーNFD-12 ポンプ	東邦 EG 3				

標	標	深	現	現	地	色	相	相	地	記	孔			標	準	貫	入	討	, E	険			試	料採	取	室原	削
			場土質	場	盤材料の		対	対	質		内水位		深月	₹-N	値図		1	V 深	100m の打	mごと 撃回数	打撃	50 自 回 汐	t	試		内位	孔
尺	高	度	名	土	の工学		密	188	時		測		P142					度	0	100 20	o と の	の 例		料	取	置 試	月月
			模模	質	学的分		120	稠	代		定月								≀ 100	200 30	書	貫入フ	1	番	方	武試	
(m)	(m)	(m)	様	名	類	調	度	度	名	事	目	o	10 2	20 :	30	40	50 Î	直 (m)			1/ 1	量量	₫ (m)	号	法	験験	日
1	302.01	1, 50		礫混じり粘土 質砂	:	暗褐	rd1			径10~40mmの礫と砂からなる盛土。 部分的に粘土分を塊状に含む。 全体に不均質で少量の木片が混じる。	10/24 1.41							3	1 110	1 1 110 11	3 330		1, 15	P-1	⊖		
			0000	粘土混じり砂 礫	,	淡絽	rd2			径5~20mmの礫と粗砂からなる砂礫。 深度1.70mまではやや有機質な細砂。 径40mm程度の礫が少量混じる。 礫は硬質な亜角~亜円礫で礫種は雑 多]_	-						1. 48 2. 15 5 2. 45	50	1 3	5 300 50		1.48 2.15 2.45	P 2	Θ		10
1	300.51	3.00	9,000	玉石混じり砂 礫		灰	rd3			ッ。 コア長13~37cmの玉石が混じる砂礫。 玉石は流紋岩質で非常に硬質。	10/20 3.62					<u> </u>	1	3.00	0		0						23
4	299.66	3, 85	0:0:0 >>>> >>>>							安山岩の破砕部(礫質土)。 著しく破砕され岩組織は失われてい	┌═			•			-	4. 15 25 4. 45	Ĭ	9 10	25_ 300		4. 15	P 4	⊜		
5			****** ******	安 山 岩						る。 コアは比較的締まった機混じり粘土状 を呈し、部分的に灰色に粘土化してい る。					0		_	5, 15 34 5, 45		12 15	34_ 300		5. 15	P 5	⊜		
-	297, 51	6.00	VVV VVV			淡緑										-	7,	6. 15	17	22 <u>11</u>	50 0 220	220	6, 15	P 6	⊜		1.0
7	,		****	安山		灰				安山岩の破砕部(軟岩)。 礫質土状コア主体で岩組織の大半は失 われている。 深度6.70m以深,所々に岩片状コアを呈						-	-	7. 15 54 7. 43	14	19 <u>17</u>	50 0 280	280	7.15	P-7	⊖		24
1 8	1		****	岩						保険6.70m以保, 所々に若互払コノを至し、一部に傾斜60°前後の割れ目構造を残す。						-	록 ,	8.05	27	60	50_ 160	160	8.05 8.21	P 8	⊖		
9	294. 51	9, 00	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\													-	1	9, 10	50		50 100	100	9, 10	P-9	Θ		10 26
10																											
11																											
12	2																										
13	3																										
14																-	\dashv										
Ĺ																											